



会長年頭挨拶

市立札幌病院 野崎正行

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。この新しい年が皆様にとりまして実り多い一年となりますよう心からお祈り申し上げます。今年も一年どうぞ宜しくお願い致します。

昨年は自然災害が全国的に発生し、北海道でも9月に大きな地震が発生しました。更にブラックアウトにより不自由な生活が強いられましたが、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。災害に遭われたみなさまには心からお見舞いを申し上げますと共に一日でも早い復旧、復興をお祈り申し上げます。今年亥年です。十二支の中でも最後の年です。十二支を植物の一生と考えると、戌年でたわわに実った果実が種子となり、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするという意味があるそうです。そして、動物の猪のイメージからは、猪の肉に万病予防の効能があると信じられていることから、無病息災の意味が生じ、更に、猪の猪突猛進な性質から、勇気と冒険の象徴ともされているようです。今年参議院選挙、北海道知事選挙、消費税10%と政治や経済も大きく変わる年であり、元号も変わる節目の年でもあります。みなさん、種の殻を破って新しいことに勇気をもって挑戦してみたいかがでしょうか。

細胞検査士会に目を向けると、昨年は20年ぶりに全国学会が札幌で開催されました。参加者は3000人と少なめではありましたが、多く皆様のご協力により無事に終了することが出来ました。お疲れ様でした。また、年末には2019～2020年度細胞検査士会役員選挙が行われ、当会の藤岡副会長が全国役員35名の一人として高得票で当選しております。今後はこの35名の中から会長、副会長を選出する選挙が引き続き開催される事になります。

今年度の北海道細胞検査士会の行事も残すところ、2月2日の細胞診わかばセミナーと3月3日に開催いたします細胞診従事者講習会、総会となりました。多くの皆様のご参加をお願い致します。また当会も2019～2020年度役員改選時期になります。総会では次期会長を決定いたしますので、総会にも是非多くの皆様のご参加をお願い致します。

今年も役員一同、スムーズな会の運営を心がけ活動して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。また、重ねてメーリングリストへの登録も是非お願い致します。

第39回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会 終了

昨年12月2日(日)北海道大学医学部学友会館「フラテ」大ホールにおいて、第39回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会が開催されました。学会長である北海道大学大学院医学研究院 生殖・発達医学分野婦人科学教室 教授 渡利 英道 先生のもと、一般演題13題、スライドセミナー3症例、特別講演に日本大学医学部産婦人科学分野 教授 川名 敬 先生をお招きし「ヒトパピロマーウィルス (HPV) 発癌から学ぶ子宮頸癌の基礎」と題してご講演をいただきました。また、要望講演に北海道対がん協会細胞診センター所長 藤田 博正 先生に「北海道におけるHPV併用子宮頸がん検診に関する臨床試験 4年間の追跡調査から見た子宮頸がん検診のあり方」と題し、ご講演をいただきました。当日は多数の会員の方にご参加いただき盛会のうちに終了いたしました。(文責 内田)

2018年細胞検査士認定試験合格者 おめでとう 新たな仲間たち

青木 葉香(株式会社ジェネティックラボ) 生谷 英三(社会事業協会帯広病院)
池田 優太(砂川市立病院) 池下 隼司(KKR札幌医療センター)
小野寺 麻莉(JCHO札幌北辰病院) 川住 春華(株式会社ジェネティックラボ)
菅野 加奈絵(NTT東日本札幌病院) 大門 史士(札幌医科大附属病院)
三宅 ひかり(札幌徳洲会病院)
(敬称 略)

以上の9名の方が本年度は合格されました。おめでとうございます。9名の中から4名の方に試験を終えての原稿をお願いしました。下記に掲載いたします。

細胞検査士認定試験を終えて

JCHO札幌北辰病院 小野寺 麻莉

昨年入職して以来、細胞検査士資格取得を目指して勉強を続けてきましたが、自施設の先輩は皆一度で合格しており、プレッシャーを感じることも多々ありました。「一次試験は絶対に合格しないと！」という思いはありましたが、試験までモチベーションを持続させるのは大変でした。解剖など基礎の基礎は他施設での勉強会で学ぶことができ、教科書を読んだだけでは分からないようなこともたくさん教えていただきました。細胞の見方も勉強を始めた当初は全く分かりませんでした。先輩方の一から丁寧に教えていただき、少しずつ細胞診に面白さを感じるようになりました。

一次試験はすごく緊張したのを覚えています。コツコツ勉強してきたつもりでしたが、直前になって焦りがでてきて不安を抱きながらの受験となってしまいました。終わった後は全く自信がありませんでしたが、無事合格していてホッとしました。二次試験では不安があるまま試験を受けることが無いよう「二次試験までの約一ヶ月間、もうこれ以上できないというくらい勉強しよう！」と自分の中で決めていました。業務終了後や休日でも夜遅くまで勉強を続けるのは体力的にも精神的にも少し辛さを感じることもありましたが、周りの方々の応援の声や一緒に勉強してきた仲間と励まし合うことで乗り切ることができました。

二次試験は前日に東京に着く予定でしたが、雪の影響で飛行機が欠航になってしまい、急遽、新千歳空港から特急で函館へ向かい新幹線に乗り換えましたが夜遅かったため東京行きに間に合わず、仙台から夜行バスで東京へ行くというハードスケジュールになってしまいました。朝5時に新宿に到着し、十分な睡眠もとれず万全な状態ではありませんでしたが、無事に試験を受けられたことに安心していたので、思ったよりも緊張せず二次試験を終えられたように思います。結果発表の時はお世話になった方々が喜んでくれたことが何よりも嬉しかったです。

周りに助けられ、なんとか一度で合格することができましたが、まだスタートラインに立ったばかりだと思うので、日々勉強し続け、一人でも多くの患者様の役に立てよう頑張りたいと思います。

最後に、親身になって教えてくださった先輩方、お忙しい中勉強会を開いてくださったり貴重な標本を見せてくださった他施設の皆様、また模擬試験など行ってくださった細胞検査士会の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

昨年は2次試験で不合格となってしまう、今年の試験は何が何でも合格しようと自分自身にプレッシャーをかけて試験勉強に挑みました。ルーチン業務が終わってから鏡検を始めることが多く、疲れから顕微鏡に顔をぶつけることも多々ありましたがなんとか合格することができました。

日々の業務が大変なのにも関わらず、自分のために練習用の標本を用意していただいたり、わからなかった標本を一緒に見ていただき病理検査室の皆さんには感謝してもしきれないです。

試験に合格し、細胞検査士としてのスタートを切ることができましたが、知識も鏡検もまだまだ未熟なのでこれからもより勉強が必要になると思います。諸先輩方のご指導の下、今後も一生懸命頑張っていきたいと思います。

札幌徳洲会病院 三宅 ひかり

細胞検査士資格認定試験、2度目の二次試験で合格することが出来ました。

元々エンジンのかかりが遅い私ですが、平成30年9月、震災により自宅が半壊するなか心労もあり中々追い込みの勉強に身が入りませんでした。どんなに勉強してもまた落ちてしまうのではないかと、逃げ出したくなる思いもありましたが、たくさんの人に「頑張れ」と背中を押して頂き、なんとか自分を奮い立たせて試験に向き合う事が出来ました。日々勤務が終わっては顕微鏡にかじりついて、休みの日も来れる日は勉強しに病院へ行きました。

前回の二次試験では特にスクリーニングの出来が良くなかったので、今年はスクリーニングの対策に力を入れ、1枚の標本をタイムを計りながら診る練習をしました。その甲斐あって試験では1枚を診る時間が短縮され、時間に余裕が出来ることで慌てず区分を選択し、細胞を詳細に観察し組織型を選択出来たと思っています。

一次試験より試験対策勉強を共にしてくれた方々、快く標本を見せて頂いた他施設の技師さん達、模擬試験を実施して頂いた北海道細胞検査士会の皆様、私を応援して下さった皆様にこの場を借りて感謝を申し上げます。まだまだ未熟者ですが、これからは、細胞検査士としてよろしくお願い致します。

札幌医科大学附属病院 病理部 大門 史士

やっと、終わったー。本当に、本当に長かった。

昨年、二次試験不合格で落ち込み、すごく落ち込み。数か月後、何とか立ち直り、また勉強と趣味のセルブロックを始めて。あの悔しさがあったから、今年の余裕？の合格があったと思います。

ただ、先輩のアドバイスを全然聞かなかった私はダメだったと後悔しています。試験会場に向かう移動日は天候が荒れるので前々日に東京に行きなさい！と言われたが実行せず。前日の金曜日、いざ千歳空港へ。ところが飛行機が欠航。今年は行けずにダメだったか・・・と諦めかけたが粘りをみせる。

前代未聞？の試験日の振り替えを行い日曜日に試験を受けさせていただきました。会場では試験官に802番来れたんだ！良かった！なんて言われてチョットした有名人に。朝も早く試験の予定も狂ったあげく実技試験からの開始。派手に失敗して。今年は終わったと確信。二度も失った命、あとは来年のために、試験の傾向を掴んで帰ろうと。ここからが、意外と落ち着いて試験を受けられたような気がしました。発表当日は、絶対落ちてしまったと思っていたので、見る前に先輩に謝りました。番号があったのを見つけたときは本当に、ホッとしました。やったー！今まで支えてくれた先輩方に感謝いたします。やっと皆さんと同じ細胞検査士になれました。これからさらに大変ですが、一枚でも多く標本を見て早く皆さんに追いつきたいです。温かく見守っていただければと思います。

今後の予定

「全国」

- 第1回 細胞検査士会ワークショップ 2019年2月9日(土) 東京(帝京大学医学部・医療技術学部)
- 第2回 細胞検査士会ワークショップ 2019年2月10日(日) 東京(帝京大学医学部・医療技術学部)
- 第77回 細胞検査士ワークショップ 2019年2月16日(土)17日(日) 広島(広島大学病院)
- 第10回 日・台・韓細胞検査士合同セミナー Songdo Convensia in Incheon, Korea
2019年3月23日(土)
- 第60回 日本臨床細胞学会総会春期大会(東京) 2019年6月7日~6月9日
- 第58回 日本臨床細胞学会総会秋期大会(岡山) 2019年11月16日~11月17日

「北海道」

- 第31回細胞診従事者講習会:2019年3月3日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 北海道細胞検査士会総会 :2019年3月3日(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- Love49:2019年4月7日(日) 札幌地下街ポールスクエア
- 細胞診講習会①(一次模擬試験):2019年秋予定 札幌医科大学
- 細胞診講習会②(二次模擬試験):2019年秋予定 札幌医科大学
- 第40回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会 2019年11月24日(日)
札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 札幌臨床検査技師会「検査deフェスティバル」:2019年秋予定札幌地下歩行空間
- 学術講演会「細胞診わかばセミナー」:2020年2月予定札幌医科大学
- 第32回細胞診従事者講習会:2020年3月予定(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 北海道細胞検査士会総会 :2020年3月予定(日) 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂

メーリングリストへの登録のお願い

会員への情報伝達手段の一つとしてメーリングリストを開設し、北海道臨床細胞学会や北海道細胞検査士会からの情報配信に利用しています。未登録の方々はご参加をお願い致します。

メーリングリストへ登録をして頂ける方は、

- ①メーリングリスト管理者(徳永 y1tokuna@d9.dion.ne.jp) までメールを送って下さい。

【件名】は「メーリングリスト参加」として下さい。

【本文】には、所属地区、施設名、お名前を記載し送って下さい。

- ②管理者が登録をしたら、「登録完了メール」が配信されます。



<編集後記>

会長も年頭挨拶で述べらてますように今年は十二支最後の年となります。戌年は、結実の意味もありますが、新たなチャンスを得るためには、何かを取って何を捨てるかを明確に定めることが大事な年でもありました。皆様はどのような年でしたでしょうか？そして、亥年は来たるべき時に向けて準備を整える年になります。社会情勢、これからも変化に富む事が予想されます。私たちもそんな変化に対応すべく2019年新らたな変化を求め、自分自身に投資して、自分のものにできる年でありたいですね。今期で現在の北海道細胞検査士会の役員は任期を終える事になりますが、今後、今までの活動は活動を踏まえながらも、アイディアを絞りながら新役員が活動を続けていくことになると思います。皆様のご支援のもと、さらなる会の発展を目指して行かれと思います。皆様の会の活動へご協力をお願いいたします。

<総務 内田>